保証とアフターサービス（よくお読みください。）

保証書（別添）

この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は必ず「お買い上げ日、販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

カースピーカーの補修用性能部品は製造打切後、最低6年保有しています。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、営業所へお問い合わせください。

（お問い合わせは、添付の"ケンウッド全国サービス網一覧表"をご覧ください。）

修理を依頼されるときは

異常のあるときは、ご使用を中止し、ケンウッドのサービスセンターへお問い合わせください。

保証期間内でも「安全上の注意事項」を守らない使用で故障および破損の場合には、原則として有料にさせていただきます。

保証期間中は

保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、営業所が修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎていても修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組

（有料修理の場合は､次の料金をいただきます。）

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代	修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

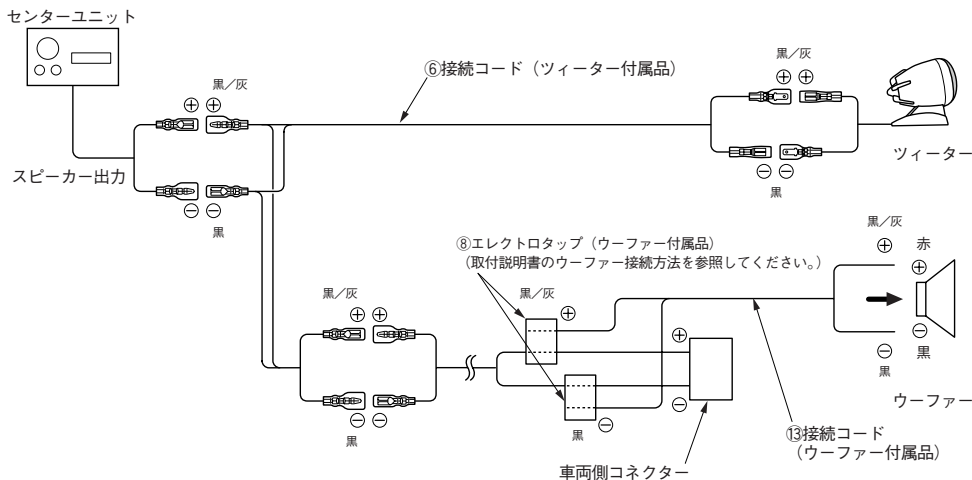
お買い上げ店名

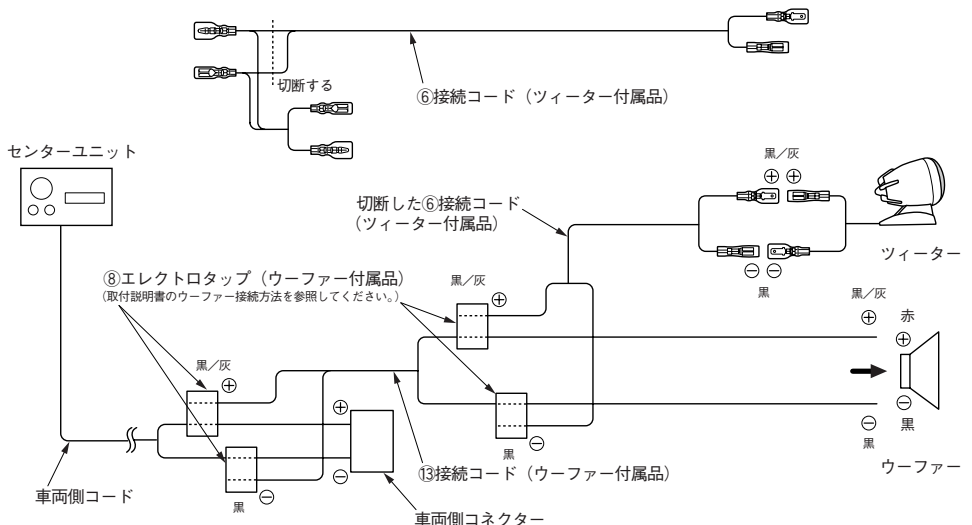
年　　月　　日

KENWOOD
株式会社ケンウッド
〒192-8525　東京都八王子市石川町2967-3

● 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター　電話（045）933-5212　〒226-8525　横浜市緑区白山1-16-2
（大阪）電話（06）6394-8085　〒532-0034　大阪市淀川区野中北2-1-22

接続のしかた

■ 接続例1．センターユニットからツィーターの配線をする場合。
（ダッシュボードへのツィーターの取り付け）

※ツィーターのハイパスフィルターは、ツィーターに内蔵されています。

■ 接続例2．ウーファー部からツィーターの配線をする場合。
（ドアミラー部へのツィーターの取り付け）

※ツィーターのハイパスフィルターは、ツィーターに内蔵されています。

⚠注意

- 不使用端子はショート事故防止のため絶縁テープをまいて保護してください。
- 接続は、接続例を参照して⊕・⊖の極性に注意して接続してください。

KENWOOD

セパレートカスタムフィットスピーカー

K-ES01

取付説明書

株式会社ケンウッド　KENWOOD CORPORATION
B54-1184-00（FHP）400745

お買い上げいただきありがとうございます。

● 取り付けにあたっては、この取付説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行なってください。

■ 必要工具

⊕ドライバー、⊖ドライバー、クリップドライバー、プライヤー、ニッパー、電動ドリル
カッターナイフ、ビニールテープ、ハサミ、フェルトペン、レンチ（TONE社MODEL 800Mなど）

安全上のご注意

ここに示す事がらは、安全に関する重要なものです。必ず守ってください。
絵表示は次の意味を表しています。

してはいけないことを表しています。（禁止マーク）

しなければならないことを表しています。（指示マーク）

■ 取付上のご注意

＊ショート、ショート事故
電気のプラスとマイナスが直接つながってしまう事をいいます。むき出しになったコード（電気配線）が他のコードや、車の金属部に接触した時などに起こります。火花が散り、周りの物に引火して火災の原因につながります。

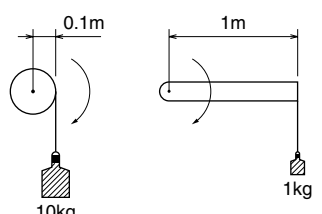
■ 使用上のご注意

● この説明書に従って作業を進めてください。お読みになった後も大切に保管してください。お車の取扱説明書と一緒にしておかれるとよいでしょう。
● 取り付け作業の説明でおわかりになりにくいところがありましたら、購入店または当社にお問い合わせください。
● 当社へのお問い合わせ先は、この説明書巻末をご参照ください。

ご注意

1. 一部車種によってはシートベルトの取り外し、取り付けがあります。取り付けの際は車輌側の規定トルクで締め付けてください。詳しくは販売店または自動車ディーラーにご相談ください。
2. 車種グレードによっては純正取付キットが必要となります。詳しくは販売店にご相談ください。
3. 車種グレード・年式によっては車輌の一部に変更がある場合があります。詳しくは販売店にご相談ください。

締め付けトルクについて

ものを　ねじる力　のことをトルクと呼んでいます。一本の野球のバットを、一人はグリップ、もう一人は先端の太い部分というように二人で握り、互いに逆方向へねじる競争をすると、太いほうを握っている人の方が有利ですね。このように同じ力を使っても、半径の大きなものを回したほうが中心にかかる　ねじれの力　つまりトルクは大きくなります。

〔ねじの締め付けトルク〕；大人が通常のドライバーを使って普通の力でねじ締めするときのトルクが、大体 1～2N･m（0.1～0.2kgf･m）です。

〔ボルトの締め付けトルク〕；必要工具に例としてあげたMODEL 800Mの工具をつかい、25kgの力で締める時のトルクが大体 49N･m（5kgf･m）です。（この工具のハンドルのグリップ部までの長さは20cm－0.2m－です。）

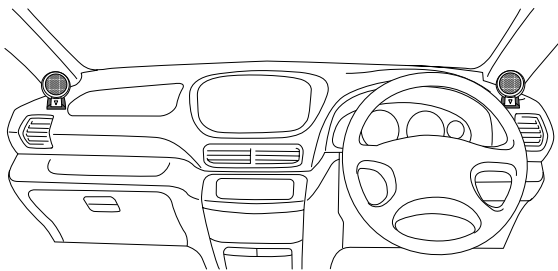
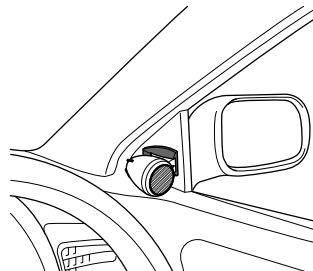
どちらも同じ9.8 N･m（1kgf･m）のトルクです。

ツィーター付属品

●本機にはツィーター用に、下記の部品が付属されていますのでご確認ください。

- ① タッピングねじ（φ3×10㎜）……×4
- ② タッピングねじ（φ3×16㎜）……×4
- ③ スピードナット（φ3）……×4
- ④ 取付金具 ……………×2
- ⑤ 両面テープ …………×2
- ⑥ 接続コード …………×2

ツィーター取付例

1. ダッシュボードへの取り付け

※運転席側のツィーターは助手席方向へ向け、助手席側のツィーターは運転席方向へ向けて、ツィーターを配置します。

2. ドアミラー部への取り付け

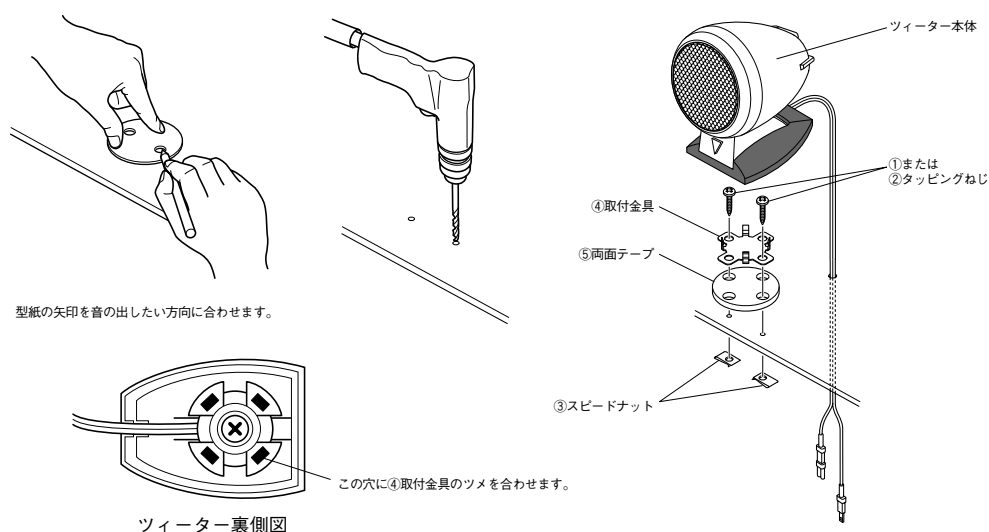
※車種によってはドアミラー部へ取り付け出来ない場合もあります。

ツィーター取付方法

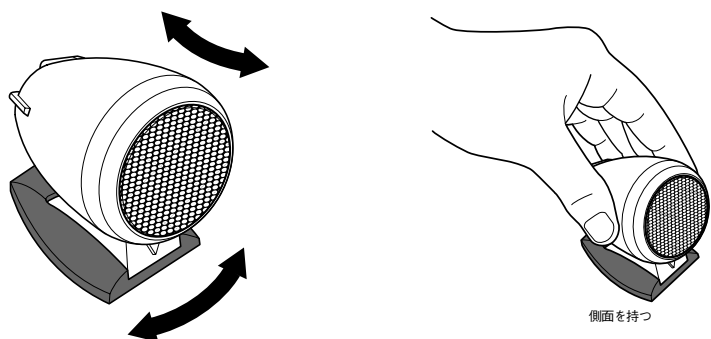
■ 作業をする前に
- 穴加工前に、化粧箱の型紙（内フラップにあります。）で取付場所を確認してください。
- 雑音防止のため、車輌側の電装系ライン、高電流ライン、その他の雑音源から離して配線してください。
- 短絡防止のため、可動部品、シャープエッジ等から離して配線してください。
- 配線が終了するまで、車の始動およびセンターユニットの電源を入れないでください。

■ 取付手順
1. ツィーター取付例を参考にして、取付場所を決めます。
2. 型紙を用いてフェルトペン等で抜穴のマークを付けます。
3. マークに沿って、スピーカーコード用穴とねじ穴をあけます。
4. ④取付金具を①または②タッピングねじと③スピードナット、および⑤両面テープを用いて取り付けます。
5. スピーカーコードを通し、④取付金具のツメとツィーター裏側の穴を合わせて嵌め込みます。

■ 取付方法

ツィーター裏側図

⚠注意
- スピーカーがガラスなどに接触しないように取り付けてください。
- スピーカー取付場所を確認する際に、ドア等の開閉による接触がないか、また、エアーバック等の安全装置の妨げにならないか確認してください。
- 加工作業の際、ガソリンタンク・ホースなどに傷を付けないようにご注意ください。
- 水がかかったり、熱風が当たる場所には取り付けないでください。
- 運転操作の邪魔になったり、視界の妨げとなるような場所には取り付けないでください。
- 必ず指定された取付部品を使用してください。（ガタツキや脱落の原因となる恐れがあります。）

角度の調整

- 本製品のツィーターは取り付け後でも音楽などを楽しむために最適な角度に調整することができます。図のようにツィーターの側面を持ち、ゆっくりと向きを変えて左右の音のバランスが丁度良くなる角度にします。

⚠注意
- 無理な角度に調整しないでください。
- 調整の際にはツィーターの正面やスピーカーコードを持って調整しないでください。
- 調整は必ず車を安全な場所に停車させてから行ってください。

※頻繁に角度調整を行ったり、無理な力で動かすと、調整された角度を保てなくなる場合があります。ご注意ください。

⚠警告
- 直射日光下ではツィーターのケースが非常に高温になります。やけどの危険がありますのでご注意ください。

※十分に車室内を冷却してから調整を行ってください。

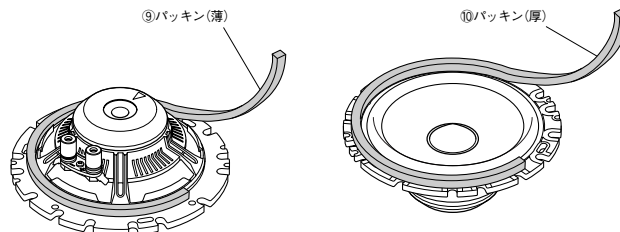
ウーファー付属品

●本機にはウーファー用に、下記の部品が付属されていますのでご確認ください。

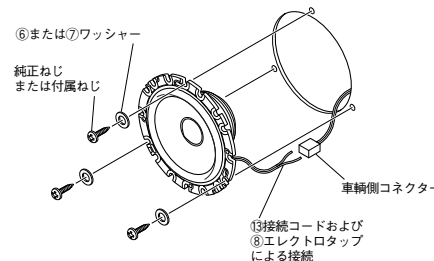
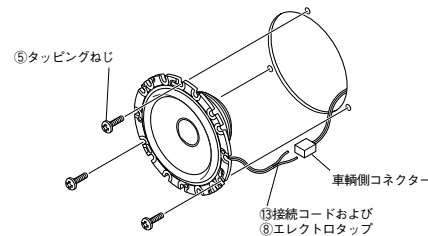
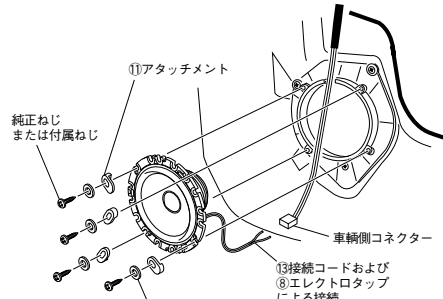
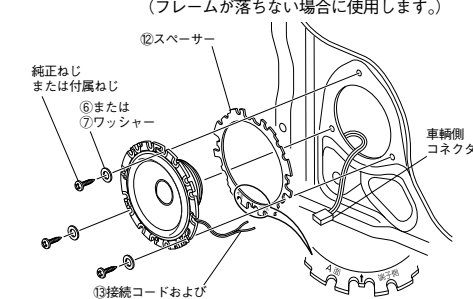
- ① タッピングねじ（φ6×20㎜）……×8
- ② タッピングねじ（φ5×20㎜）……×8
- ③ タッピングねじ（φ4×20㎜）……×8
- ④ 小ねじ（M4×12㎜）………×8
- ⑤ タッピングねじ（φ6×20㎜）……×6
- ⑥ ワッシャー（φ6）…………×8
- ⑦ ワッシャー（φ4）…………×8
- ⑧ エレクトロタップ …×8
- ⑨ パッキン（薄）………×2
- ⑩ パッキン（厚）………×2
- ⑪ アタッチメント ……×8
- ⑫ スペーサー（ゴム）…×2
- ⑬ 接続コード …………×2

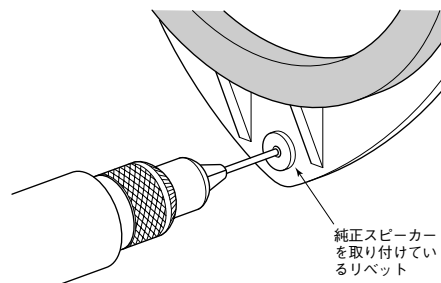
ウーファー取付準備

※防振・防滴のために⑨および⑩パッキンを貼り付けます。

● ⑨および⑩パッキン貼り付け

必ず付属のパッキンをご使用ください。パッキンを使用せずに取り付けると車室内に水が漏れる場合があります。

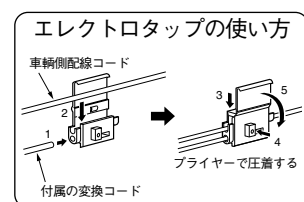
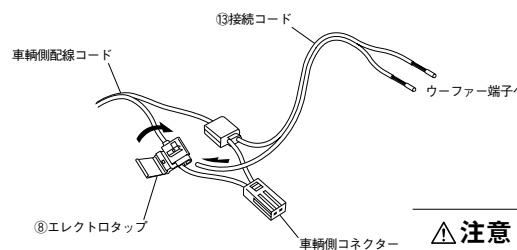
ウーファー取付例

※車輌側コネクターと⑬接続コードの接続方法は"ウーファー接続方法"を参照してください。

リベットの除去方法

- 純正スピーカーがリベットで固定されている場合

リベットのロック部（中心部）にドリルで穴をあける要領で、こじりながら取り除き、リベット本体も取り除きます。
※リベットの破片も拾って取り除きます。
※取り除いたリベットは、再使用出来なくなります。

⚠注意
- リベットを取り除く際にドア鉄板部を変形させるとねじ穴が合わなくなり、スピーカーが取り付けられなくなります。

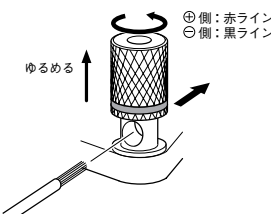
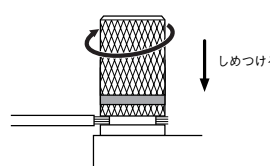
ウーファー接続方法

- 車輌側コネクターと⑬接続コードの接続方法
  付属の⑧エレクトロタップで接続します。

※⊕ ⊖ 各々極性を合せて接続します。
接続コードの灰色ライン側 ⊕極性

⚠注意
- 不使用端子はショート事故防止のため絶縁テープをまいて保護してください。

- ウーファー端子への接続方法

1. コードの被膜を取り除きます。

2. 端子のキャップをゆるめ、穴に通します。

3. 端子のキャップをしっかりしめつけます。

⚠注意
- 接続コードの先端が端子以外の金属部に接触しないように接続してください。
- 運転中に接続コードが外れないように、しっかりとしめつけてください。

●極性（⊕・⊖）について
スピーカーの極性を誤って接続すると、良好な音場感を得ることができません。極性に気を付けて正しく接続してください。